

妻つまに与あたふる歌うた一首

一七八二番

雪ゆきこそは 春日はるひき消きゆらめ 心こころさへ 消きえ失うせた
れや 言ことも通かよはぬ

妻つまの和こたふる歌うた一首

一七八三番

松まつ反がへり しひてあれやは 三みつ栗ぐりの 中なか上のほり来こぬ
麻ま呂ろといふ奴やつこ

入にふたうし唐たうし使しに贈おくる歌うた一首

一七八四番

海わたつみ神の いづれの神かみを 祈いのらばか 行ゆくさも来くさ
も 舟ふねの早はやけむ